

振興会報

第21号
H30.9.1

発行者
一般財団法人
福岡県学校安全振興会

〒812-0044 福岡市博多区千代1-2-4
福岡生活衛生食品会館3F
TEL092-641-8748 FAX092-292-8757
E-mail anshin-kyo-sai@eagle.ocn.ne.jp

振興会報の発行にあたって

理事長 今富 英樹



会員の皆様には平素より本会の事業に温かいご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、昨年7月5日に発生した九州北部豪雨から1年以上が経過いたしましたけれども、被災地では今なお1,100人を越える方々が避難生活を余儀なくされています。1日も早い復興を願いますとともに、不便な生活を強いられている皆様には健康管理に十分留意してお過ごしいただきたいと思っております。また、本年6月には大阪で巨大地震、そして7月には西日本豪雨が発生し広範囲で大きな被害が出ました。災害は、いつどこで起こるかわかりません。防災意識を高め、常日頃から災害に対する備えを怠らないことが大切であると改めて実感いたしました。

本会は昨年度、安全教育で顕著な成果があったとして、水産高等学校と八女工業高等学校の2校を表彰いたしました。水産高等学校は、授業で取り組んでいる救命講習が実際の人命救助につながりました。八女工業高等学校は、災害があったときに何ができるのかについて生徒が研究し防災意識の高揚に努めました。両校のすばらしい活動に敬意を表します。

本会の懸案事項であります「事故の増加による収支バランスの悪化」につきましては前号でもお伝えいたしましたが、昨年度皆様にお支払いした共済金等は、1,492件、36,926,900円で、一昨年に比べ、金額で約26%の増加となり、依然、急激な増加傾向が続いております。皆様には、より一層、事故防止に留意していただきますとともに、安全教育の推進に努めていただきますようお願い申し上げます。

一方、生徒減少による会費収入の減少に歯止めをかけるため平成28年度から実施しております私立学校からの会員募集につきましては今年度も鋭意継続し、健全で安定した事業運営が継続できるよう努めてまいります。

その他の事業や財務状況など、詳細につきましてはホームページに公開しておりますのでご一読いただけたら幸いです。

本会は今後も、学校管理下における生徒の災害に対する共済金給付事業を柱に、PTA活動中における保護者の災害に対する共済金給付事業、安全や健康に関する実践・普及活動に対する助成事業や表彰事業などを積極的に推進してまいります。

引き続き皆様の温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

学校紹介 福岡県立 朝倉高等学校



九州北部豪雨からの復興を願った
体育祭全校応援



モニター型電子黒板を活用した授業

創立110周年を迎えました

敬 自 聡
愛 立 明

3つの校訓を拠り所に、
世界的教養人として、国家・社会の
発展に寄与する人材を育成する。



電子黒板型プロジェクターを活用した授業



全国大会で入賞した史学部の調査活動



タブレットを活用した授業



全国大会に参加した音楽部

平成29年度 決算と事業の概況

I 事業概況

1 共済事業

平成29年度の共済金支給金額および内訳は、以下のとおりです。

| 種類 | 件数 | 給付額(円) |
|-----------|--------------|-------------------|
| 治療 | 1,478 | 30,761,900 |
| 障害 | 3 | 5,875,000 |
| 保護者入・通院 | 2 | 20,000 |
| 合計 | 1,483 | 36,656,900 |

・障害共済金支給内訳(生徒等)

| 発生場所 | 障害原因 | 給付額(円) |
|-------|---------------------------------|-----------|
| ※通学途中 | 原付二輪車にて通学中電柱衝突。上肢に神経障害が残る。 | 2,975,000 |
| 運動場 | ソフトボール授業中、ボールが直撃。腹部臓器の機能に障害が残る。 | 1,450,000 |
| 運動場 | 野球部練習試合中、ボールが直撃。腹部臓器の機能に障害が残る。 | 1,450,000 |

・保護者支給内訳

| 発生場所 | 災害原因(活動内容等) | 給付額(円) |
|------|-------------------------------|--------|
| 大会会場 | PTAミニバレーボール大会中、左足首剥離骨折。2日通院。 | 10,000 |
| 学校内 | 学校行事後に振舞う「豚汁炊き出し」にて手首骨折。2日通院。 | 10,000 |

※日本スポーツ振興センター給付「通学途中」1/2額に準じて支給。

2 調査研究事業

(1) 生徒実践活動及びテーマ

- 県立福島高等学校「保健委員会のイノベーション!!」～活動する! 発信する! 1つになる!～ PTA指導者研修会にて活動発表(H30.8.3)

(2) 第7回全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会および研究大会(埼玉)

平成29年10月5日 埼玉県川越東武ホテル

(3) 表彰 2校

- 県立水産高等学校「教科『水産』の授業を通じた安全教育」
- 県立八女工業高等学校「『もしも』の備え～考えよう～災害のこと」

III 役員会(理事・監事)評議員会開催

| | 日時 | 協議事項 |
|------|--------------|--------------------------------------|
| 役員会 | 第1回 H29.7.21 | 普及充実事業および調査研究団体・助成団体の選定、共済規程変更(案) |
| | 臨時 H29.9.14 | 共済規程事業方法書変更(案) 共済規程共済約款変更(案) |
| | 第2回 H29.12.7 | 学校安全表彰団体の選定について 臨時評議員会の招集について |
| | 第3回 H30.2.15 | 平成30年度事業計画(案)および予算(案) 共済規程事業方法書変更(案) |
| 評議員会 | 第4回 H30.5.22 | 平成29年度事業・決算報告 平成30年度の取組 |
| | 臨時 H29.1.17 | 共済規程事業方法書変更(案) 共済規程共済約款変更(案) |
| | 臨時 H30.2.23 | 平成30年度事業計画(案)および予算(案) 共済規程事業方法書変更(案) |
| | 定時 H30.6.12 | 平成29年度事業・決算報告、平成30年度の取組 理事・監事の選定 |

3 普及充実事業

(1) 安全普及充実事業

- 健康用品の配付
パルスオキシメータ…1台
タオルケット(夏用)…2枚] 全加入136団体
- 「新任事務長および事務担当者説明会」
平成29年4月27日 本会館5階大会議室 学校の新任事務長及び共済事務担当者へ事業内容や共済事務取り扱い留意点を説明

(2) 広報事業

- 「振興会報」H29.09.01発行(全会員)
事業・決算報告、事業計画・予算等
- 「加入のご案内」H30.03.01発行(新入生会員)
本会の趣旨・活動等を紹介
- 「振興会だより」H30.03.01発行(1団体3～5部)
本年度の事業進捗状況、健康・安全情報提供
- 「共済概要」H30.03.01発行(全会員)
共済事業の概要及び請求方法を紹介

4 助成事業

(1) PTA役員等研修助成

- 福岡県公立高等学校PTA指導者研修会
平成29年7月31日 会場:福岡リーセントホテル
- 県高P連4地区(北九州・福岡・筑後・筑豊)研修会
平成29年10月～11月 会場:4地区各会場

(2) 団体活動助成(以下、3団体へ)

- 県高等学校保健会 ● 県高等学校給食研究協議会
- 県立学校等生徒指導主事研究協議会

5 供花料給付事業

9件 270,000円給付(対象:生徒等 1件30,000円)

II 決算(一般会計) (単位:千円)

| 収入の部 | 支出の部 |
|---------------------|---------------------|
| 基本財産運用収入 2,204 | 事業費 96,224 |
| 特定資産運用収入 1,840 | (うち共済金給付費36,656) |
| 会費収入 64,784 | 管理費 5,102 |
| 雑収入 1 | |
| 当期収入合計 68,829 | 当期支出合計 101,326 |
| 備金戻入 37,377 | 次期繰越金差額 4,880 |
| 収入合計 106,206 | 支出合計 106,206 |

※財務諸表を、ホームページにて公開しております。

平成30年度 予算と主な事業

| 平成30年度役員 | |
|------------|------------|
| 理事 | |
| 理事長:今富 英樹 | |
| 副理事長:大澤 俊朗 | 常務理事:平野 孝幸 |
| 一木 栄子 | 谷延ひろみ |
| 金子 政彦 | 澁谷 昌樹 |
| 永尾 秀樹 | 松岡 優子 |
| 監事 | |
| 後藤富士恵 | |
| 高島 孝一 | 高田 毅 |
| 谷口 茂敏 | |
| 評議員 | |
| 馬場 美穂 | |
| 松下 志保 | 三根 広次 |
| 山田 好 | |

I 平成30年度事業計画

| 事業名 | 目的 | 内容 |
|-----------|---|--|
| 1 共済事業 | 生徒、保護者等の災害等を補償する | ①生徒等の災害に対し、(死亡・治療・障害)共済金支給 ②保護者等(教職員及びPTA等活動を支援する者)がPTA等活動中の災害に対し、(死亡・入院・通院)共済金支給 |
| 2 調査研究事業 | 生徒等の健康、安全及び健全育成等に関する調査研究に対し助成を行う | ○安全に関する調査研究(紀要発行)・発表に費用助成 ○他県における安全教育振興会活動の情報収集 |
| 3 普及充実事業 | 生徒等の健康、安全及び健全育成等に関する普及充実と、広報活動を行う | ○安全普及充実事業・加入団体(学校)へ「健康用品」寄贈 ○広報事業 ・「共済概要」「加入のご案内」「会報」等の発行 ・学校担当者向け「共済事務取扱説明会」実施 |
| 4 助成事業 | 教育関係団体の行う安全・健康教育及び健全育成等に関する実践活動に対し助成を行う | ○県高P連(指導者研修会や地区研修会)助成 ○関係諸団体(申請団体を審査後)助成 |
| 5 供花料給付事業 | 供花料を給付する | ○生徒等が死亡した場合(事由のいかんを問わず)給付 |

II 予算(一般会計) (単位:千円)

| 収入の部 | 支出の部 |
|--------------------|--------------------|
| 基本財産運用収入 2,200 | 事業費 91,700 |
| 特定資産運用収入 2,100 | (うち共済金給付費50,000) |
| 会費収入 64,000 | 管理費 26,250 |
| 雑収入 1 | |
| 当期収入合計 68,301 | 当期支出合計 117,950 |
| 備金戻入 30,100 | 次期繰越金差額 -19,549 |
| 収入合計 98,401 | 支出合計 98,401 |

III 行事予定

| | | |
|--------|------------------------|-----------------------------------|
| 30年 | 4月18日 | 新任事務長および事務担当者説明会 |
| | 5月8日 | 内部業務監査(監事) |
| | 5月15日 | 外部会計監査(公認会計士) |
| | 5月22日 | 第4回役員会 |
| | 6月8日 | PTA等共済事務担当者会議(文部科学省) |
| | 6月12日 | 定時評議員会 |
| | 7月9日 | 全国高等学校等安全互助会第1回役員会 |
| | 7月26日 | 第1回役員会、自主研修会 |
| | 9月1日 | 「振興会報」第21号発行 |
| | 9月3日 | PTA共済事業立入監査(県教委) |
| | 9月25日 | 臨時役員会・④コンプライアンス委員会 |
| | 10月4～5日 | 第8回全国高等学校等安全互助会連絡協議会及び研究大会(静岡県開催) |
| 11月1日 | 内部中間業務監査(監事) | |
| 11月15日 | 外部中間会計監査(公認会計士) | |
| 11月22日 | 全国高等学校等安全互助会連絡協議会研修 | |
| 12月7日 | 第2回役員会・自主研修会(講師:文科省職員) | |

| | | |
|------|---------------------|----------------------|
| 31年 | 1月11日 | 臨時役員会 |
| | 1月23日 | 臨時評議員会 |
| | 2月上旬 | PTA等共済事務担当者会議(文部科学省) |
| | 2月12日 | 第3回役員会・②コンプライアンス委員会 |
| | 2月25日 | 「共済概要」発行 |
| | 2月25日 | 臨時評議員会 |
| 3月1日 | 「安全振興会だより・加入のご案内」発行 | |

※毎月下旬に、共済支払い「ミニ監査」を実施

本会に関するご意見、ご要望・ご質問等ございましたら事務局までご連絡 <http://f-anzen.or.jp> ください。また、ホームページも開設しております。ぜひ、ご覧ください。

個人情報の利用目的について 個人情報の取扱いについては、この法人の「個人情報保護に関する基本方針」および「個人情報管理規程」に従うものとします。いただいた個人情報につきましては、共済契約の管理および審査、共済金の支払およびこの法人の事業のために使用され、それ以外に使用いたしません。



近年、落雷をとまなう局地的な大雨や、気温35℃を超える猛暑日が増えるなど、異常気象が懸念されます。また、九州では28年の熊本大地震や29年の九州北部豪雨の発生など、自然災害はいつでもどこで起きるかわかりません。突然の災害に備えて、いま出来ることは何か。発生時はどのような行動をすべきか。日頃から心構えをしておきましょう。

地震

県内には主要活断層帯が7カ所も存在しているとされています。平成17年3月20日(日)午前に発生した福岡県西方沖地震では、死者1名、1,000名を超える負傷者がでるなど、大変大きな被害がありました。記憶に新しいところでは、平成23年3月の東日本大震災や平成28年4月の熊本地震、今年6月の大阪府北部地震など、想定外の発生と甚大な被害がでました。いつ、どこで被害にあうか予測も出来ない「地震」。今いる場所ではどのような危険があるかを知り、日頃から防災意識を高くもって突然の被災に備えましょう。



緊急地震速報

地震発生直後に強い揺れが始まる前に知らせる情報です。速報から揺れるまで数秒~数十秒しかありません。**身の安全を守ることが最優先です!**

知っていますか?

熊本地震の人的被害、多くは、厳しい避難生活等による「震災関連死」



1年間に4,300回ほどの地震活動があり、多くの住民が、避難所での生活を余儀なくされました。長引く避難生活は健康にも影響し、死者252人のうち倒壊家屋の下敷きなど直接死は50人、残りの多くは被災後の体調不良などによる関連死に数えられています。

地震発生時の身を守るための対応

屋内にいた場合

- ・机やベッドなどの家具の下にもぐる
- ・クッションなどで頭を守る
- ・本棚や窓から離れる
- ・学校ならば先生の指示に従う
- ・エレベーターは絶対に使わない



屋外にいた場合

- ・駅のホームなど看板等の落下に注意
- ・塀や建物、電信柱などから離れる
- ・手荷物などで頭を守り、広い場所へ避難
- ・乗り物では急停車に備え、常に手すりにつかまる



一度読んでみよう!

福岡県が作成した「防災ハンドブック」には、災害に関する情報がわかりやすく掲載されています。ぜひ一度目を通してみてください!



福岡県防災ハンドブック



風水害

これまで福岡県は何度も大雨や台風により大きな被害を受けています。風水害の危機が迫ってきた場合は、気象情報を確認し、早めの避難行動を心がけましょう。



局地的大雨の前兆

- ・黒い雲が近づき、急に暗くなる
- ・雷の音が聞こえ、雷光が見える
- ・急に冷たい風が吹く



注意報

災害の起こる恐れがあるときに発表

警報

重大な災害の起こる恐れがあるときに発表

特別警報

重大な災害の危険性が著しく高まっているときに発表



風水害発生時の身を守るための対応

- ・むやみに外出をしない
- ・単独行動はしない
- ・河川の氾濫や土砂崩れの危険性のある場所には近づかない
- ・危険を感じたら**早めの避難**



今自分たちでできる備えと対策

自宅の「災害危険度」を知ろう!



自治体によるハザードマップを入手して、危険度を把握しましょう。

最寄りの避難場所を確認しておこう!

災害発生時、落ち着いて素早く避難するため、安全な避難経路の確認も大切です。



災害時の連絡方法を確認しておこう!

災害発生時、電話が繋がりにくくなります。「災害伝言ダイヤル」や被災地外の連絡中継地点をつくるなど、安否確認の方法を事前に家族で話し合しましょう。



必要なものを備えておきましょう!

「非常持出品」と「備蓄品」。時間経過や家族の状況によって必要なものは変わるため、定期的にリストを確認し、少なくとも3日分以上は用意しましょう。



我が家を安全な場所に!

出入口や通路に物を置かない、家具を固定するなど、安全対策をしておきましょう。

